

# キャピラリー電気泳動装置

## P/ACE システム MDQ



### 装置概要

キャピラリー電気泳動は、内径が20～100 $\mu$ m、長さ10～100 cm程度の細長いフューズドシリカキャピラリーで行なわれる電気泳動装置です。キャピラリーは細長いだけでなく微小であるが故に、電気泳動に際して発生するジュール熱が小さく、その放熱も容易です。その結果熱対流による試料分子の拡散を抑制する事ができ、電解液中での試料成分の電気泳動移動度の違いに基づく分離、すなわち自由泳動による良好な分離が可能になります。

最大電圧 / 電流	30kV(極性逆転可能) / 300 $\mu$ A
キャピラリー温度制御	専用冷媒による液冷式、15～60 $^{\circ}$ C
キャピラリー加圧制御	-34～689kPa (-5～100psi) 試料注入時は-34～172kPa (-5～25psi)
サンプル温度制御	5～60 $^{\circ}$ C (室温25 $^{\circ}$ C)
測定波長域	波長選択式ディテクタ(UVディテクタ) 標準 200, 214, 254, 280nm
	レーザ誘導蛍光ディテクタ 350～750nm